
人間レポート

里見令

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間レポート

【Nコード】

N7206G

【作者名】

里見令

【あらすじ】

数学嫌いの少年が、そこから人を分析するといいいではないのか！
？という境地に達する。

はじめに

僕は数学が嫌いだ。

何故かというと、話は長くなるのだが、話す必要があるので話そう。

最初から数学が嫌いだった訳ではない。

寧ろ、好きな方で、あのわからない問題を理解したときの快感は何とも言えず良かった。

だから、僕は難解な問題を沢山解いた。

図形、証明、確立、微分、積分、何でも解いた。でも、あるとき気づいたんだ。

それは、数学には何をやるにしても公式というものがる。

そうだな：例えば縦かける横とかね。

僕はそこに疑問を持ってしまったんだ。

何で縦かける横で面積がでるんだって。

まあ、これは簡単な例だからわかるかもしれないが、

あらゆる公式に疑問を抱いたんだ。

思い出して欲しい、いろいろな公式を。

何でこれに当てはめると答えが出て、

そもそも、この公式がどんなもので、

どこから出てきたのかわかるかい？

もしかしたらわかる人もいるかもしれないね。

それはすごい、尊敬しよう。

まあ、ともかく、僕はそういった疑問を抱いたわけだ。

僕はどうでもいいことはどうでもいいが、好きなことに関してはなんでも知っていないと気がすまない性質でね、

このせいで、大学入試の歴史は散々だったよ。
一部は学校の教授並の知識があるのに、
全体だと3分の1しか知らないんだからね。
何とも滑稽な話だ。

おっと、話が横道に逸れてしまったが、
僕はその疑問を学校の先生に聞いてみたんだ。
そしたら、なんて答えたと思う？

そこまで考えるのは学者のレベルだよ。
君たちはまだ、こうなるとだけ覚えておけばいい。

ふざけるな！と言いたくなつた。

どうせ、先生にもわからないことだったのだろう。
真意ははつきりと判らないが、

自分で調べることに余儀なくされた訳だ。
しかし、いざ調べてみると、難解すぎて到底
理解することのできないものだったよ。
それに挫折した僕は数学をやめた。

そもそも、そこが判らなければ、
理解できていないものを理解できるようになったと
思っているだけで、そこが解せない。
どこで造ったかわからない冷凍食品を食べて
満足しているようなものだ。
なら勉強すればいい話だが、ちょっと待ってくれ。

1足す1がこうでこうだから2になると理解したところで
完全に自己満足の世界じゃないか！

ああ、そう、僕はそこまで疑問を抱いていたんだ。
1足す1が何で2なんだろうねってね、

3でも4でもいいじゃないか！

そう思ったら1足す1が3だろうと4だろうと、
自分にはまったく関係の無いようなことだと思えてきた。

まあ、仮にこの世界がプログラムされた世界で、

僕ら皆が1足す1のようなもので構成されているとすれば別だ。
どんなに時間がかかろうとも調べてやろうと思う。

何故なら、もしそうであれば、それを解析すれば
すべてを解析できたのと一緒にだからね。

でも、そうでもないだろう。

肯定できないが否定できない類の問題である。

とにかく、そんな不確定なものに時間を費やすのも

無駄であるので、僕はなにかもつと有益なもの
はないかと考えたんだよ。

一つ断っておくが、数学者を否定しているわけではない。

彼らは非常に優れており、尊敬しさえする。

ただ単に僕がそこまで数学に興味を持てなかっただけである。
で、思いついたのが、

この世界人と人との関係がすべてである。

他人がいなければ何もできない。

それならば、人を分析して解析すればこれほど
有益なことはないだろう！

心理学に近いものがあるが…人間学！

そう名づけようじゃないか。

様々な人と話して分析し解析していききたいと思う。

それを、レポートにまとめてみようじゃないか！
早速取り掛かろうと思うので楽しみにしていたきたい。

注意事項

注意しておかないといけない事がある。

学と付くからには、客観性が求められてくる。

なので、僕自身客観的に分析しなければならないが、僕が僕である以上、

主観なしに分析することは不可能である。

そこは許してもらいたい。

そう思うと、数学のすごさが分かってくる。

あれほど客観的なものは無いものだ。

物理や科学も同様である。

それにくれべると、

国語や歴史は客観性に欠けるところがある。

では、まずどうすればいいか…、

他人を分析するにおいて、

まず、自分を分析してみる必要があると思った。

いや、自分を分析してみる必要性はあまりないのだが、

自分を客観的に分析することによって、

次の分析のときに、

客観的な自分という比較対象ができるので、

多少楽になるのではないかと思ったのだ。

比較無しに人の本質を見極めることは極めて難しい

事であると思う…。

何故？と聞かれても答えられないが比較があつてこそ

判ることがあると僕は思うのだ。

まだ、そこは分析を開始してないので憶測でしかないのだが、最初と最後で、最初分析した人物の印象も大分変わってくる

…というか、深く掘り下げて見る事が可能になっているのではないかと思っている。

そこも、このレポートを進めていくうちの醍醐味の一つなのかもしれない。

また、今後分析に反映されてくる主観的なものも、自分のどういった性質のものが、

この自分の分析によって明らかになるかもしれない。

あとは、初めての事なので慣れていない。

何を聞いたりすればいいのか判らないので、

その慣れるのも兼ねて自分を分析してみたいと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7206g/>

人間レポート

2011年1月22日02時36分発行